

## 01 巡礼の旅に寄り添う 4/28 新たな石柱設置

香川県三豊市高瀬町下勝間の遍路道沿いに新たな石柱を設置いたしました。この石柱は、豊嶋様が四国遍路100回目の結願を記念して建立されたものです。豊嶋様は、歩き遍路10回、車遍路90回、あわせて100回という大きな節目を達成されました。石柱は特別にこだわって製作され、裏面には錦札が納められています。今回の設置により、当NPOによる石柱は四国全体で121基目、香川県内では81基目となりました。今後も、石柱の寄付や土地のご提供にご協力いただける方を募集しております。



## 02 人力車でお遍路!?

8/24 ガンプ鈴木さん四国別格二十霊場を結願!

SNSフォロワー数が100万人を超える人力車の旅人兼クリエイター・ガンプ鈴木さんと、高知県室戸市の小学6年生 中内さんが、このたび四国別格二十霊場を結願し、ゴール地点となった室戸市役所で半井理事長らが出迎えました。昨年、ガンプ鈴木さんは人力車で、中内さんは自転車で四国八十八ヶ所を結願しており、今回も大きな挑戦が実を結んだ形となります。半井理事長よりガンプ鈴木さんに「歩き遍路大使任命書」と、今後も四国遍路の魅力を広く発信いただけることから「名誉遍路大使任命書」が、中内さんには「自転車遍路大使任命書」がそれぞれ手渡されました。ぜひ、YouTubeやInstagramで旅の様子をご覧ください。



## 買って地域に貢献! ご当地WAONのご案内 AEON Payにご当地機能が登場しました!

スマホでAEON PayやWAONをご利用の方で、ご当地WAONの設定をされていない方へご案内です。iAEON(アイイオン)アプリをダウンロードし、「かがわ おもてなしWAON」を設定、AEON Payチャージ払い、またはWAONでお支払いいただくと、利用金額の一部が四国遍路や瀬戸内国際芸術祭など、文化振興に役立てられます。ぜひ、お買い物を通じてご協力・ご支援をお願いいたします。

※「ご当地WAON」は、利用金額の0.1%を地域に寄付する仕組みです。



詳細は  
iAEON



## お遍路さんに聞く 四国遍路のリアルな魅力 Vol.3

ベルギーから来日されたANNさんに四国遍路の感想を聞きました。吸い込まれるような美しい瞳を持つ彼女の職業はセラピスト。四国遍路を知ったきっかけは、女性誌で特集されていた記事だったそうです。

「歩き続けるうちに、自分の内面と深く向き合うようになり、人生の意味や信念について考えるようになった。四国遍路はただ寺を巡って御朱印を集め、お祈りや参拝をするだけではなく、自然と一体になる瞑想のような体験。これは終わりではなく、学びの始まりだと思っている。仏教や般若心経をもっと学びたくて、帰国後はベルギーの僧侶に教わるつもりです。」

「四国の人たちは、見返りを求めず本当に寛大で優しい。膝の痛みを除けば、すべてが順調だった。来日前のトレーニングで3キロ、歩き遍路でさらに6キロ痩せたの!ダイエットしたい人は歩き遍路をすればいいわ(笑)決断力があれば、なんだってできる!」

共に旅をしてきた大きなリュックには、こいのぼり、羽織、数珠、バッジやお守りなど友人や家族へ心を込めて選んだお土産がたくさん。荷物が入りきらず、大阪へすでに2度も荷物を発送したとか。遍路大使任命書と記念バッジを手にしたANNさんの目には、感激の涙が光っていました。結願おめでとうございます!



## 遍路大使・おもてなし大使

### 任命者数

| 遍路大使 総計                      | 自転車遍路大使 総計                     |
|------------------------------|--------------------------------|
| 2004.4~2025.7.31<br>48,057 名 | 2014.7.21~2025.7.31<br>1,234 名 |

■歩きまたは自転車遍路での結願者へ授与しています。

発行元



NPO 四国遍路おもてなしネットワーク  
〒761-0104  
香川県高松市高松町2306番地3-3階  
電話・FAX 087-814-5459  
E-mail info@omotenashi88.net  
ホームページ https://www.omotenashi88.net/



フォローお願いします!



## 遍路とおもてなし通信

最新の活動報告などNPOの「いま」をお伝えします

2025.9  
Vol.36



## 第20回通常総会・活動報告会開催! 千年先へ 一伝えたい遍路の魅力

### 千年先へ! 伝えたい遍路の魅力

理事長 半井 真司



去る6月14日には、第20回通常総会と活動報告会を盛大に開催することができました。開催にあたりご協力賜った会員の皆様に御礼申し上げます。

今回の活動報告会のテーマは「千年先へ」一伝えたい遍路の魅力ーといたしました。四国遍路は1200年あまり受け継がれてきた、唯一無二の四国の宝であります。私は四国に住むものとして、この四国の宝を次の千年に引き継いでいく責務があると思っています。しかしながら、近年はお遍路さんの数が大幅に減少するとともに、人口減少や高齢化、そして過疎化が進み受入態勢が弱体化してきており、このままではその継承が危ぶまれる状況にあります。こうした中で、この四国の宝である四国遍路文化をサステナブルな文化遺産にして後世に引き継ぐためには、遍路の魅力をより広く伝え、お遍路さんのすそ野を広げることが重要になっています。そこで、今回は遍路の魅力をもう一度再認識し、多くの人に伝えようという想いから、このテーマにいたしました。

報告会では、四国八十八ヶ所霊場会会長の海老塚和秀様から「千年先へ伝えたい遍路の魅力」と題して基調講演を賜ったあと、子供遍路大使の小学生の兄弟やウクライナから避難して来ている女性をはじめ5組の方々に遍路体験を発表していただきました。海老塚様は講演の中で、お接待文化があることから「四国は安心して迷子になれる場所」であり、お遍路をすると「心のチャンネルが変わる」ことが遍路の魅力と語っておられましたが、私も同感です。そして、四国の「心のGDP」のシェアは実経済よりもはるかに高いという言葉は、四国の心の豊かさが伝わる印象的なものでした。また、5組の体験発表では、いずれもが遍路を通した人との出会いを熱く語られ心に響きました。

私たちはお遍路さんになって初めて分かる遍路の魅力を後世の人たちに語り継ぎ、遍路文化を千年先に引き継いでいかなければなりません。そのためには、四国遍路の世界遺産登録が極めて有益な手段であることから、その機運醸成を目的の一つにしている「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」を今後も1万人規模で継続して参りたいと考えています。そこで、総会でご承認いただいた認定NPOの申請手続きに向けて、コンプライアンスなどの体制の整備や財政基盤の強化に取り組んでいます。なかでも、認定NPOの要件の一つである賛助会員の増強に注力しておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

間もなく秋の遍路シーズンが始まります。当NPOでは、9月から「親子お遍路ウォーキング」(4回)と「専門家と巡る遍路探訪」、そして、来年2月23日の「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」などを開催いたしますので、皆さんも是非ご参加いただき、後世に語り継ぎたい遍路の魅力を再発見してください。

## 01 第20回通常総会・活動報告会

総会の様子

海老塚和秀氏

池田香川県知事

6月14日(土)にかがわ国際会議場にて、第20回通常総会と活動報告会を開催しました。総会出席者255名(うち会場出席50名、書面表決179名、委任状26名)、活動報告会は約100名の参加がありました。第20回通常総会では第1号議案から第6号議案まで厳肅に審議され、満場一致で可決、承認されました。正会員のみなさまには、書面表決・委任状の提出にご協力をいただき誠にありがとうございました。引き続き、寄付者に税制優遇措置が適用される認定NPO法人の登録に向け、取り組みを進めてまいります。

活動報告会は、テーマを「千年先へー伝えたい遍路の魅力ー」として開催しました。基調講演では、竹林寺住職であり四国八十八ヶ所霊場会会長の海老塚和秀氏にご登壇いただき、四国遍路が持つ深い精神的価値や、現代における様々な課題について、ご住職ならではの視点で語っていただきました。子どもの供養のために四国遍路を歩く一人のお母さん遍路さんとの心温まるエピソードが紹介されると、会場のあちこちから涙がこぼれていました。また、昨年に引き続き池田香川県知事にもご登壇いただき、過去3回参加された一日一斉おもてなし遍路道ウォークの感想や、四国遍路の世界遺産登録に向けた取り組みについてお話しいただきました。

遍路の体験発表「千年先へ語り継ぎたい遍路の記憶」では、お遍路を通じて大きく成長した小学生・高校生による若い感性ならではの発見、直島在住のフォトグラファー 岩田さんが語る四国遍路で人生が変わったストーリー、お遍路をこよなく愛する福田大先達によるお遍路さんとの心温まる出会い、ウクライナ出身のオレナさんによる戦争終結への願いを込めたメッセージと遍路体験。どのお話もまさに千年先の人々へ伝えたいと思う内容で、四国遍路が未来に受け継がれていくことを願わずにはられない、かけがえのない時間となりました。



▲岩田 耕平氏



▲FC今治高校里山校



▲福田 恵峰氏



▲ロバチョフ オレナ氏

続いて、当NPOの半井理事長より2024年度の活動報告が行われ、四国各地で遍路文化の活性化に取り組む団体の発表として、加茂谷へんろ道の会、おへんろつかさの会、「四国へんろ道文化」世界遺産化の会からも活動報告がありました。



▲半井理事長



▲加茂谷へんろ道の会 横井会長



▲おへんろつかさの会 長尾会長



▲「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 小山田代表世話人

また、元宇高連絡船船長の萩原幹生氏より、一日一斉おもてなし遍路道ウォークを題材とした切り絵作品をご寄贈いただきました。人物の豊かな表情から、NPOを代表するこのイベントの明るくにぎやかな雰囲気伝わってくる作品です。切り絵は事務局に飾っておりますので、ぜひお立ち寄りください。活動報告会の様子はホームページの会員専用ページからご覧いただけます。

当NPOは、6月15日をもちまして設立から20年目を迎えました。これまで多くの方々に支えられ、活動を継続してこられたことに深く感謝申し上げます。今後とも、当NPOの取り組みに変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲(左)萩原幹生氏 (右)半井理事長

## 02 四国遍路世界遺産登録推進協議会「受入態勢の整備」部会

6月11日(水)に 四国遍路世界遺産登録推進協議会「受入態勢の整備」部会が開催され、部会の構成メンバーが2024年度の活動報告と2025年度の活動計画を共有しました。「受入態勢の整備」部会は経済団体、NPO、4県58市町村、地方支分部局が構成員となり、札所周辺及び遍路道の保全・整備に取り組んでいます。今回の部会では、各団体からの活動報告に加えて、「遍路道とトイレ位置案内図」へのWi-Fiスポット情報の追加掲載、みち案内表示シートの設置、遍路道の草刈り・倒木処理補助事業の実施(一宮寺道・かも道・大宝寺道・岩屋寺道)の報告、世界遺産関係の動向についてのお話がありました。

さらに、第9回「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」に参加された皆様からの報告を受け、改善された箇所についても共有されました。

### 【主な改善内容】

- ・高知県安芸市 国道55号:道案内表示を路面にお遍路マーク付きで大きく明示
- ・東洋町 甲浦坂トンネル前:注意喚起表示の追加
- ・黒潮町 伊田トンネル:照明のLED化
- ・香川県さぬき市志度:手すりの変形に対応

当NPOでは、前回に引き続き「第10回 一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」での点検結果をWeb地図上に可視化し、部会メンバーおよび道路管理者と情報共有を行いました。こうした積み重ねが、スムーズな遍路道の改善に繋がることを期待しています。



## 03 お接待で広がる輪

### 6/28外国人のための四国八十八ヶ所遍路体験

香川県国際課の主催により第31回「外国人のための四国八十八ヶ所遍路体験」が開催されました。今回は11か国出身の17名が参加し、宇多津駅から78番札所郷照寺、79番札所天竺寺を巡りました。

当日は最高気温33度という厳しい暑さの中でしたが、清水屋のところでんをいただきながら小休憩し、参加者の皆さんは最後まで元気に歩き通しました。遍路道の案内と解説は大先達の福田理事が務め、おもてなしステーション「お遍路処八十八亭」では、宮川自動車さんと当NPOによるお接待も行いました。最後には参加者代表から流暢な日本語でお礼のスピーチがあり、温かな交流のひとつとなりました。



▲お遍路処八十八亭にて

### 今治FC高校里山校 四国お遍路チャレンジウォーク



スモトリア浅野総本店にて

サッカー元日本代表監督の岡田武史氏が学園長を務める今治FC高校 里山校では、「四国巡礼チャレンジウォーク」を実施しています。2回目となる今年度は、2期生がチームに分かれ、大窪寺から青龍寺までの道のりを歩きました。道中では、四国家サポーターズクラブや当NPOもお接待を行い、歩みをサポートしました。

### 8/8 高松高校と開成中学が香川探訪



東京の開成中学サッカー部が香川県を訪れ、長年交流を続けている高松高校サッカー部と合同で活動を行いました。この交流は今年で8年目を迎えます。84番札所屋島寺では、NPO会員によるガイドや生徒へのお接待も行われました。開成中学の生徒からは、「うどんが安くてコシがあって美味しい!」「親戚が四国にいたので遍路のことは知っていたが、お寺を訪れるのは初めてで嬉しい!」といった感想が寄せられ、香川の文化や魅力を存分に体験した様子がかがえました。

### 事務局長退任のご挨拶

NPO法人遍路とおもてなしネットワーク理事 大西信文



私は2025年6月末で当NPO法人事務局長を退任致しました。これまでご支援頂きました皆様に心より感謝申し上げます。私は2008年に友人に誘われて当NPOの活動に参加しました。この18年の記憶の中から心に残る貴重な体験を少しご紹介させて頂きます。

- 2014年7月に「日本・スペイン交流400年」記念事業として世界遺産サンチャゴ巡礼路にあるモリナセカ町の公園に仏師凡海作の生木観音像を寄贈しました。コンボステラ大聖堂も訪問し大司教から貴重なお話を聞く事も出来ました。最後は日本大使館での日本・スペイン交流会でした。
- 四国遍路世界遺産の願いを込めて東京オリンピック聖火リレーに出場。「四国遍路世界遺産を願って走る」の自己推薦文が刺さったのか聖火ランナーに選ばれました。コロナの為、聖火リレーは一年延期になりましたが2021年4月18日に高松市五番町を走りました。治道から一斉遍路のタオルマフラーを広げた沢山の山の人から応援を受けた時の感動は私の宝物です。
- 2025年2月23日「第10回一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」で初めて参加者が一万人を迎え、四国4県の知事に全員ご参加頂きました。10年前にわずか220名で始まったイベントが今一万人、感謝・感激です。

7月より、新事務局長は専務理事岩澤 健が兼務しています。引き続き、皆さまのあたたかいご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。